

令和 6 年度 第 2 回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	令和 7 年 2 月 1 0 日（月）午後 1 時 3 0 分より
開催場所	健康文化センター 1 階 多目的室
出席者名	議会議員代表 3 名 民生委員・児童委員代表 3 名 私立保育園法人代表 1 名 保護者代表 8 名 事務局 1 0 名
次 第	1 委員長あいさつ 2 議題 (1) 令和 6 年度保育所運営の報告について 南保→西保→北保→大口中保 (資料 1－1、1－2、1－3、1－4) (2) 令和 7 年度保育所運営について (ア) 令和 7 年度保育園園児数について (資料 2) (イ) 年間事業計画について「ことしのあゆみ」 (資料 3) 3 その他

(進行：委員長)

委員長	1 挨拶
保育長	2 議題 (1) 令和 6 年度保育所運営の報告について (保育園全体としての報告) 公立保育園になるが、若干の行事の見直しを行った。ご理解ご協力を頂き、感謝している。行事に関して、4 保育園、3 月 2 1 日（金）に年長児のお別れ遠足を予定している。そこで五条川遊覧船の乗船体験をさせていただけることになった。大口町の子どもたちに大口町ならではの思い出を作ってもらいたいということで実現をした話であり、公立保育園・大口中保育園・大口幼稚園・ラモーナ幼稚園すべての大口町内の施設の年長児が体験をさせていただく。通った保育園の柵を超えて、将来新しい友達関係ができたときに、この乗船体験の思い出話に、花を咲かせてくれるとよいと思っている。 公立保育園で、延期をしていた全園児引き取り訓練をアプリを使って実施さ

南保育園園長	せていただくことになった。保護者の皆様には、少し急なお願いになったかとは思いますが、ご理解とご協力をお願いしたい。 南保育園の取り組み報告（資料No.1－1） SDGs を意識した活動では、住んでいる町について知り、地域の人と触れ合うことで地域への愛着心を育てている。持続可能な開発目標の17のゴールのうち、No.4「質の高い教育をみんなに」No.11「住み続けられるまちづくりを」No.17「パートナーシップで目標を達成しよう」の3つの目標を掲げ継続的な取り組みをしてきた。地域の方との交流が定着し、今年度も大口町の南地域、3つの老人会とそれぞれ交流会を行った。「堀尾跡公園に散歩に行きますが」と声をかけさせていただくと、「信号まで迎えに行きますね。」「公園では安全の見守りもしますね。」と、散歩サポーターとしての役目も担ってくださり、地域の方の柿畑での柿狩りでは、道中の安全と畑での見守りも進んで行ってくださり、園の活動、要望をしっかりと理解していただけたうえで交流が続いている。本当にありがたく思っている。今年度は、新たに南小学校との繋がりができ、遠足や散歩でお邪魔させていただいた。年長児は、学校を身近に感じ就学に対する期待がふくらむきっかけになった。このような地域（自然、人）との関わりを、令和6年度版郷土愛かるたとして作成し、遊んだ。かるたで遊ぶことで、楽しい経験を思い出し、住んでいる地域の良さを改めて感じる事ができている。 食育活動では、野菜の栽培活動を通して、人や物への感謝の気持ちを育ててきた。1年を通して食育サポートの方に野菜の栽培の指導をいただき、子どもたちは野菜を身近に感じ、観察、世話をした。収穫できた野菜を給食でいただくことで、食べる喜び、人や物への感謝の気持ちが育まれるように進めてきた。夏野菜は、毎日収穫しないと、どんどん成長して皮が硬くなったりしてしまう。給食の食材としては不向きになってしまった野菜は、製作に使用した。真ん中の写真はオクラでスタンプ遊びをしている2歳児である。野菜は、無駄なく使用した。これもSDGsである。 体力作りは、遊びを通して体力作りに取り組んだ。固定遊具がある広い園庭や、園周辺の自然豊かな恵まれた環境を散歩したりしながら元気いっぱい、伸び伸びと遊ぶことで、年齢に応じた体と心の豊かさを育ててきた。園庭に固定遊具があるので、いつでも遊べる環境である。友達が遊んでいる姿を見て、刺激を受けやってみようという気持ちも育つ。室内でも、マットや跳び箱を利用して全身を使った遊びを楽しんでいる。体を動かすこと、友達と様々な遊びを経験することで、運動能力が高まり、体力がつくだけでなく、約束を作って守ったりすること、あきらめずにやり遂げることなど心の健やかな成長にもつ
--------	---

南保育園 父母の会会長	ながっている。先週は雪が降り、寒さが一段と身にしみたが、子どもたちは外で遊ぶと言って、園庭に駆け出していった。「寒いから体が温まる遊びをしたらいいいね」と考える姿もみられた。 地域とのつながりが深まり、「子どもを真ん中にした関係づくり」が地域の方々の中にも根付いてきていることを感じている。今後も、保育園、家庭、地域が手を取り合っていきたいと思う。 (南保育園 父母の会活動報告) ・ 6 月バザー ・ 写真撮影 8 回 写真販売 3 回 ※ バザーと写真販売の収益は運営費にあてた。 ・ お楽しみ会 ①ダッシュマン ②名古屋経済大学 ボランティアサークル 人形劇 ・ 夏祭り お店出店と園児にプレゼント ・ クリスマス会 園児にプレゼント ・ オイスカ 森の積み木広場 エコキャップ・アルミ缶の回収 ・ リユーススモックの回収と販売 ・ 卒園・進級 プレゼント
西保育園園長	西保育園の取り組み報告（資料No.1－2） 西保育園は、主に食育、異年齢児交流、体力作りに取り組んできた。 食育として、SDGs No. 1 2「つくる責任 つかう責任」を掲げ、食の循環を基に「食に対する感謝の気持ちを育み、給食の残食 0 をめざすこと」を目標に子どもたちと取り組んできた。 食の循環【食べる】において、給食やおやつは、美味しく楽しく食べることを大切にしている。入園当初は偏食があったり、少食であったりした子どもたちであるが、畑で野菜の栽培、収穫をし、採れたての野菜を見て触れることで野菜に興味関心を持ち、年長児の給食G s 放送を聞くことで、その日の献立、食材を知り、友達と一緒に食べることで更に食への意欲が出て、偏食が減り完食できる子が増えている。上段中央写真は、0 歳児がおやつに出た新米おにぎりを食べている所である。「新米だよ」「おいしいよ」と伝えながら配膳したおやつだが、その雰囲気と炊き立てごはんのおいしさが伝わったのか、どの子どもおいしそうに口いっぱいほおぼる姿に、食の大切さ、生きる力を感じ嬉しく思った。【残食・生ごみ】において、給食とおやつ時に行う年長児の給食G s 放送を楽しみにしている。おやつ時の放送は、その日の残食量を放送する。残食量があると「惜しかったね」「残念」などという声が聞こえる。残食ゼロの日

は、特別の音楽を流し「給食G sスペシャルです」と放送するので、「残食ゼロ」と言う前から理解して大喜びをする子どもたちである。子どもたちの中に残食をなくそうとする意識が育っていることを感じる。

今年度1月末までの残食ゼロの回数は、21回で、昨年度は15回だったので6回増えている。残食量は昨年度461.5kgだったのが、今年度423.4kgで、38.1kg減少している。1日に換算すると平均1.7kgで、子ども茶碗17杯分の残食量となる。ゼロのメニューは、魚メニューが多く9回、他はカレー、唐揚げ、厚揚げの和風煮などである。【野菜作り】において、今年度より中地域自治組織の方が食育サポートとなり、畑で夏野菜として、きゅうり、ナス、トマト、ピーマン、オクラ、ニンジン、里芋、さつま芋、すいか、冬野菜では、ブロッコリー、キャベツ、白菜、大根、カブ、ねぎ、ニンジンを作ってくださった。どの野菜も新鮮で生長が良く立派で、子どもたちの食欲をそそった。更に昨年度より、耕作面積を減らしたことで収穫量が子どもたちの消費量に適しており、残さず食べることができた。

8月と1月には食育サポートの方を給食に招き、園児と触れ合い、畑で採れた野菜の入った給食を一緒に食べていただいた。子どもたちも地域の方と一緒に触れ合うことが嬉しく、手紙を書いてくる子もあり、今後も温かい交流を深めていければと思う。

異年齢児交流では生活や遊び、行事などを通して、異年齢児の交流を深めてきた。初めは関わりの場を作ったり、年少、年中、年長児のペアを作ったりして関わるようにしてきた。年上児と一緒に遊ぶことで、年下児が遊びを覚えたり興味を持ったりする。兄弟でなくても、回廊や戸外で見かけると名前を呼んだり、手をつないでくれたり、靴をはかせてくれたりして、優しい気持ちや思いやる気持ちが育っている。年上児は年下児に目線を合わせて話したり、相手をしたりしている。3段目中央写真は1歳児のかけっこを年長児が誘導している様子である。保育士が言ったわけではないが、自然と後ろ向きになって、体を屈めて「こっちだよ」と誘導している姿には見ている保育士も温かい気持ちになった。協調性の心が育っている。年下児も異年齢児に親しみを持つようになり、遊びの中に自然に入っていけるようになり、社会性も育っている。今後もそれぞれの年齢にあった異年齢児との関わりを大切にしていきたいと思う。

体力作りでは、子どもたちの体力増進を図り、園庭、保育室、回廊や公園に出かけて運動遊びや体を動かして遊んできた。下段左写真は1歳児が余野中央公園に出かけ、芝生の山を登っている所である。園庭にある築山の上り下りをしているおかげで、中央公園の山も1人で上り下りできるようになっている。未満児は足腰が鍛わり歩行の安定につながり、走ることができるようになり、転んだりぶつかったりすることが減ってきた。下段中央写真は回廊での運動遊

	びの様子である。同じ遊びを繰り返し行ったり、遊びの中の一つに整えて出しておくことで、苦手でも行ってみようとしたり、諦めずに根気よく行ったりしている。下段右写真は年長児の様子である。4月から体幹を鍛えることを目標に継続して運動遊びに取り組み、腕、足、体幹が鍛わり、持久力や筋力もつき、姿勢保持につながっている。 どの活動も西保育園の特徴として、日々継続して取り組んでいる。その結果として、子どもたちの中に日常の取り組みとなり、自然に楽しく行っている。今後も子どもたちが様々な経験をし、大きく育っていくために、地域の方の手をお借りしながら、地域、保育園、家庭が一緒になり、共に子育てをしていきたいと思っている。
西保育園 父母の会会長	(西保育園 父母の会活動報告) ・エコキャップ集め 9月オイスカ森のつみき広場で贈呈 ・7月 夏祭り ヨーヨー釣りのブースを担当 ・9月 全園児対象 ダッシュマン来園 ダッシュイエローを役員が担当 ・11月 全園児対象 風船太郎ショー ・1月に年中児、2月に年長児を対象に命を大切にしたいテーマでのイベント「命とは何か」「命を大切にするにはどうしたらよいか」「この世界に生まれてきた大切さ」を伝えた。 ・写真販売を年4回、最後にバックナンバーの販売。収益は運営費に充てている。 ・プレゼント 夏祭り・運動会・クリスマス会・進級 ・現在は卒園式に向けて準備をしている。 ・写真販売がすべて終わったタイミングで、父母の会役員対象にアンケートを実施。よかった94% やりたくなかった6% ・今年度の役員はくじ引きで決まったが「子どもたちの笑顔が沢山見られてよかった」「普段見られない子どもたちの姿が見られてよかった」「保護者と横のつながりができてよかった」など仕事をしながらの活動は負担があったと思うが、結果的にやってよかったと思う保護者が多かった。
北保育園園長	北保育園の取り組み報告（資料No.1－3） SDGsの活動では、持続可能な開発目標の17のゴールのうち、No.11「住み続けられるまちづくりを」を目指し、No.12「つくる責任 つかう責任」No.15「陸の豊かさも守ろう」の目標に向かって取り組んできた。今年度も、日常保育の中で「園舎を大切にする」という気持ちをもって、回廊の外階段を子どもたちと一緒にきれいに磨き、紙やすりをかけなおしていく活動をおこな

北保育園 父母の会会長	ってきた。年長児を中心に始めたが、その様子を見た年中児・年少児にも活動は広がっていった。毎年お世話になっているふれあい交流会の方による回廊の油ふきの際に、「汚れがひどくなった南回廊を、きれいにしたいな」という言葉をいただき、今年度は職員で回廊の一部を磨いてみた。地域の方も高圧洗浄機を持ってきて、かけてくださったり、モップを使ってやすりかけをしていただくなど、協力いただいた。来年度は、水遊びも兼ねて園児も一緒に行えたらよいと考えている。その他、年長児は毎日雑巾かけを行い、園舎をきれいにしている。毎日繰り返すことで、雑巾を掛ける姿も様になっている。 毎年の取り組みの一つであるが、「地球にやさしい北保育園」の話から、冬の時期に回廊下の通気口に板を年長児と一緒にはめ込んだ。二人一組で息を合わせて、大人顔負けで、上手にはめ込むことができた。 木育活動について。木育はSDGsの活動からも繋がっている。昨年度から始めた「地域の方ともくもくの日」は、年間を通じて定着してきた。子どもたちは、地域の方と木のおもちゃで一緒に遊び、時には甘えて膝にのせてもらうなど、毎月楽しみにしている。地域の方もグランドゴルフを早めに切り上げて来てくださるなど好意的で、とてもありがたく思っている。年中児の親子マイ箸作りは、仕上げが終わり、後は終了記念として家庭に持ち帰り、年長進級と共に給食で使うことを待つばかりとなっている。 今年度は、木造園舎の回廊を活かした保育活動を多く取り入れた。園内子どもの日・七夕まつり・夏祭り・ハロウィン・クリスマス会・節分など、回廊を使って「ウォークラリー」や「コーナー遊び」を計画し、異年齢交流をしながら、楽しんだ。木に触れ、木の香りや温かみを感じながら過ごしている。 食育活動では、「きたきた食育サポート」の方と一緒に、野菜の苗植えや収穫を楽しんでいる。給食交流会で、食育サポートの方を招待して、一緒に給食を食べた。畑の野菜が入った給食を食べていただくことで、保育園の給食を知っていただき、また、年少児が給食を食べる姿を見て「上手に食べるねえ」など、いつもと違う子どもたちの姿を見ていただくこともできた。 地域交流では、沢山の地域の方に見守られながら、子どもたちが元気にすくすくと育っている。2月25日には、感謝の集いを計画している。子どもたちから、日頃お世話になっている地域の方にお礼の気持ちを伝えることにしている。今まで積み重ねてきた地域の方とのご縁を今後も大切にしていきたいと思っている。 (北保育園 父母の会活動報告) ・お楽しみ会
------------------------	--

大口中保育園 園長	7月 日本マクドナルドのプログラム「ハロードナルド」による防犯・交通安全教室 8月 風船太郎による風船ショー ・写真販売 5回（撮影は15回） ・プレゼントの配布（夏祭り・運動会・クリスマス会・進級） ・保育園のイチゴ畑の管理 ・今後もより良い活動になるよう来年度に引き継いでいきたいと思う。 大口中保育園の取り組み報告（資料No.1－4） 大口中保育園の特色として、主に体力作り、運動遊びに力を入れてきた、年齢の発達に合わせて、毎朝のサーキット遊びや体育専門の講師による運動遊びを取り入れ、健康な身体作りと体を動かす楽しさを味わえるよう取り組んできた。「やってみたい」「できるようになりたい」と思えるように導き、「できた」という達成感・満足感を自信へと繋げていく。運動は苦手だと感じる事がないような取り組みや言葉掛けに配慮し、誰でも楽しく参加できるようにしている。手にはがんばりまめをいっぱい作りながら自分なりの目標を持ち挑戦している園児も多い。写真は、専門指導員による体操・サッカー教室である。一人一人に合った目標を立てたり、アドバイスを頂きながら取り組んでいる。 二段目の写真は、自然遊びに取り組んだ様子である。昆虫や作物など自然に親しむ取り組みの中で、遊びを見つけ興味・関心の幅を広げる活動を取り入れてきた。左の写真は、地域の方に数珠玉取りに誘って頂き、たくさんの数珠玉を使って数珠つなぎをした。好きな形に整え、その後、リボン・ビーズ・松ぼっくりなど材料を選び、好きなように飾り付けをしてオリジナルのクリスマスリースを完成させていた。中央の写真は、園庭で落ち葉を使って制作をしている写真である。園庭には、いちょう・かえで・けやきの木などがあり、色々な落ち葉の違いに気づいたり好きな形を作ったりして楽しんだ。右側の写真は、遊歩道を散歩中の1歳児である。五条川には、こい・かも・さぎなどの生き物が見られ、土手には様々な草花も咲き、四季折々の季節の変化を感じさせてくれている。 三段目は食育活動の様子である。左の写真は、年長児のお菓子作りをするために買い物に行った様子である。畑で収穫したさつま芋を使って「スイートポテト」を作るにあたって使う材料から自分たちで準備したいと子ども達から声が上がった。ドン・キホーテ大口店さんに協力をお願いし、みんなで買い物に出かけた。写真は、砂糖コーナーで色々な砂糖の種類があるのでお菓子作りに使う砂糖はどれなんだろうと相談している様子である。砂糖にも種類がある事や、店の方とのやりとりなど様々な学びがあった。各年次、畑やプランターで
----------------------	---

	季節の野菜を育てたり、収穫した野菜を使ったクッキングも行った。田植えの 写真があるが、今年度も民生委員の渡辺さんのご厚意により、田植え・稲刈り の体験をさせて頂き、稲の生長、米の実りを身近に見ることが出来た。「育て る」「収穫する」「調理する」「食べる」などの体験を通して食に興味・関心を 持ち、感謝の気持ちを持てる取り組みが出来た。 異年齢での活動の紹介。左側のけん玉の写真は、年長児が手本を見せたり、 持ち方を教えたりしながらけん玉の楽しさを伝えているところである。中央の 運動会ごっこの写真は、運動会が終わった後、年中児のバルーンに年長児が挑 戦したり、年少の踊りを年中児も楽しんだりと他年次の競技や遊戯を楽しん だ。ずっと練習風景を見ていた2歳児も一緒に参加し、憧れのバルーンができ てとても満足そうだった。最後は「ハロウィンパーティー」の様子である。年 長児がアイデアを出し、準備や当日の進行も行いつつ、みんなを楽しませてく れた。異年齢での活動を通して、憧れたり世話をする中でお互い様々な刺激を 受け、興味や関心の幅が広げられる活動に取り組んできた。 今後も、大口中保育園の特色を大切にしつつ、子どもたちの健やかな成長と、 保護者の皆様からの安心感・信頼感を大切に取り組んでいきたいと思う。
大口中保育園 父母の会会長	(大口中保育園 父母の会活動報告) ・ 4月 役員の役割分担・イベントの準備 ・ 6月 不用品回収 ・ 7月 七夕会のブース担当 ・ 8月 運動会のメダル作り ・ 9月 ミニバザー ・ 1月 メリオっと体操撮影・バブリン先生のシャボン玉ショー ・ 写真撮影と販売 ・ プレゼント (七夕会・運動会・クリスマス・ひな祭り・お別れ会・進級)
保育長	(2) 令和7年度保育所運営について (ア) 令和7年度保育園園児数について (資料2) 昨年11月29日に入園申し込みを締め切り、審査を行い、2月7日に保育 所利用承諾書を送付した。表の左側が各保育園の定員数、真ん中が令和7年 度の利用見込数となっている。右側に昨年度の人数を参考として載せている。 現時点では見込み数とさせていただいている。7年度の利用見込数は、年度 内の途中入所が決定している園児20人を含む数となる。今回、利用調整をさ せていただいた方がみえたが、第4希望までの保育園を記入して申し込みをさ れた方は、みな入園していただける。7年度の利用見込数は、南保育園11

保育長	7名、西保育園202名、北保育園150名、大口中保育園138名、4保育園総合計607名、となる。 南保育園の3歳未満児と西保育園の3歳以上児が、現時点では定員を超えての入所見込みとなっているが、職員配置等は国の基準を満たしているので、室内環境を整え、受け入れを行う。 (イ) 年間事業計画について「ことしのあゆみ」(資料3) 左側は主な年間行事で、保護者のみなさんにご参加いただくものは、○印をつけてあるので、参考にしていきたい。 ・4月4日は午前中に入園式、午後在園児を対象に進級式を行う。 ・5月に全園児引き渡し訓練を計画している。災害が発生したため、お迎えをお願いしますという旨をアプリで配信する。受信後、速やかにお迎えのご協力をお願いしたい。 ・6月には、音楽発表会を予定している。 ・9月は、防災の日に合わせ、防災訓練を行う。毎月避難訓練を行っているが、より内容を充実させ、いざという時に備えたいと思う。 ・10月11日は運動会。第2土曜日に予定をしている。 ・12月は、生活発表会を予定している。クリスマス会は、地域の方にサンタクロース役をお願いして、地域の方との交流を図っていききたいと思う。 ・2月下旬から3月上旬には、感謝の集いを行う。日頃から力添えをいただいている地域の方に、子どもたち、職員みんなで、感謝の気持ちを伝えたいと思っている。 ・3月27日に卒園式を行う。 ・保育園ごとで年間を通して、様々な取り組みを行っていく予定である。 年間行事の下は、7年度の学年の帽子と名札の色となっている。 下段には、「毎日家庭で行える子育て3か条」を載せてある。これは学校用の子育て10か条をもとに、保育士と幼稚園教諭で作成した。家庭と保育園、そして地域で、一緒に子育てをしていきたいと思っている。身近においていただきたく、「あゆみ」の中に入れさせていただいたので、ふとしたときに見ただけだと嬉しく思う。 右側には、「園生活の一日の流れ」、その下に「土曜日保育休日保育」の記載をさせていただいているので、それぞれ確認いただければと思う。 7年度の保護者の方の育児休業に伴う退所について、少し見直しをしようと思っている。現在3歳未満児(0歳児・1歳児・2歳児)は、保護者の方の育児に伴って、退所をしていただいていた。7年度から、2歳児については子どもの発達の視点から、廃止する方向で進めている。
------------	---

こども課長	3 その他 7年度から、オムツの無償化を進めている。サブスク等を導入しているところはあるが、大口町は無償配布という形をとっていくように進めている。 3歳以上児については、4月から給食費の無償化を進めていく方向である。現在、主食代は無償化しているが、副食費については4000円を徴収している。
南保育園 父母の会会長	父母の会の規約が公立3園は同じであるが、実際は揃わない部分があった。保育長と各園長、父母の会役員で検討し、規約の改正を行い、現在承認を得ているところであり、来年度からは新しい規約でスタートする。 南保育園は、3年前から東海理化の地域貢献活動で卒園式にバルーンアーチを作っていた。今年度もお願いしている。
児童委員代表	コロナ禍で色々なことが、少しストップしていたが、よくここまで活動的に運営されていると、感心しながら、また、子どもたちは幸せだと思いながら活動報告を聞いていた。西保育園へあいさつ運動に出かけているが、小さいうちから元気に挨拶できるということは、成長した時が楽しみだと思う。 先日、西保育園の父母の会の命を大切にするイベントにお邪魔した。プロの先生が話すのとは違って、保護者の方が話されるのは、子どもたちの心に響き、とても意味のあることだと思った。勉強させてもらうとともに、心豊かにさせていただいた。
議会議員代表	活動報告を聞いていると、テレビのはじめてのおつかいを見ているようなイメージがわき、泣きそうになる。感謝の気持ちでいっぱいである。2年間、お世話になった。
議会議員代表	活動報告を聞いて、尽力されていると思い、敬意を表す。
議会議員代表	保育の現場で、職員は色々なことに気を使って頑張っている。保護者の方も、我が子だけでなく大勢の子のために、多くの活動を行っていただけるということは、とてもありがたいと思う。挨拶は本当に大事なことだと思う。小学生は、日頃挨拶をしても1割くらいしか返ってこない。あいさつ運動では8割くらいの子が返してくれる。保育園の子は10割の子が返してくれる。毎日の家庭の中でのやりとりが大切であると思う。
健康福祉部長	挨拶 今年度で役職を降りる職員からの挨拶をさせていただく。

保育長	挨拶
西保育園園長	挨拶
こども課長	閉会の挨拶